

中期標準化戦略(概要と目的)

専門委員会・AG名

マルチメディア応用専門委員会

1/3

企画戦略委員

石岡 譲 (富士通)

登録委員数

47/18

委員長・副委員長/
リーダー・サブリーダー

委員長：山本秀樹 (OKI)、副委員長：芹沢昌宏 (NEC)

図解

活動の目的・意義

- ITU-T SG16で扱っているマルチメディアやデジタルサービスに関するテーマについて標準化を行う委員会。ITU-T SG16会合の対処方針や提出寄書の審議をこの委員会で行う。審議対象には、TTC内に対応するSWGや専門委員会の無いSG16の課題やSG16全体に関するものも含む。現状、電子情報健康管理SWG、アクセシビリティSWG、メディア符号化・通信SWG、ILE-SWG (23年度からIPTV-SWGと併合)、マシンビジョン-SWGの5つのSWGから構成される。
- SG16の課題にとらわれず、TTCの会員様からの新しいニーズで上記にマッチしそうなものは積極的に新SWGやアドホックを作り標準化推進の間口を広げる。SG16の既存課題にマッチしていなければ新課題の提案につなげる (例：Beyond 5G時代の新しいデジタルサービス)。
- 標準の提案は、ITU-Tに限らず、TTCの国内標準やASTAP (Asia Pacific Telecommunity Standardization Program)を含む。

活動する上での課題
(人材面や運用面での課題を含む)

- 既存のSWGに関連するテーマは、各SWGのページに記載。
- SG16の以下の課題(a)(b)(c)は関連するTTCのグループとの連携を深め、SG16への寄書の国内寄書審議の取りまとめは本委員会で行う。以下では、TTCグループ名を括弧の中に記載。
(a) 課題Q5 AIによるマルチメディアアプリケーション (AI活用)
(b) 課題Q22 分散電子台帳技術とeサービス (セキュリティ)
(c) 課題Q27 車載マルチメディア通信、システム、ネットワーク及びアプリケーション (コネクテッドカー)
- 議論が進む車載マルチメディアや自動運転支援、新規提案のメタバース等に対する国内の情報共有、対処検討を迅速に進めること。

関連のSDGsゴール

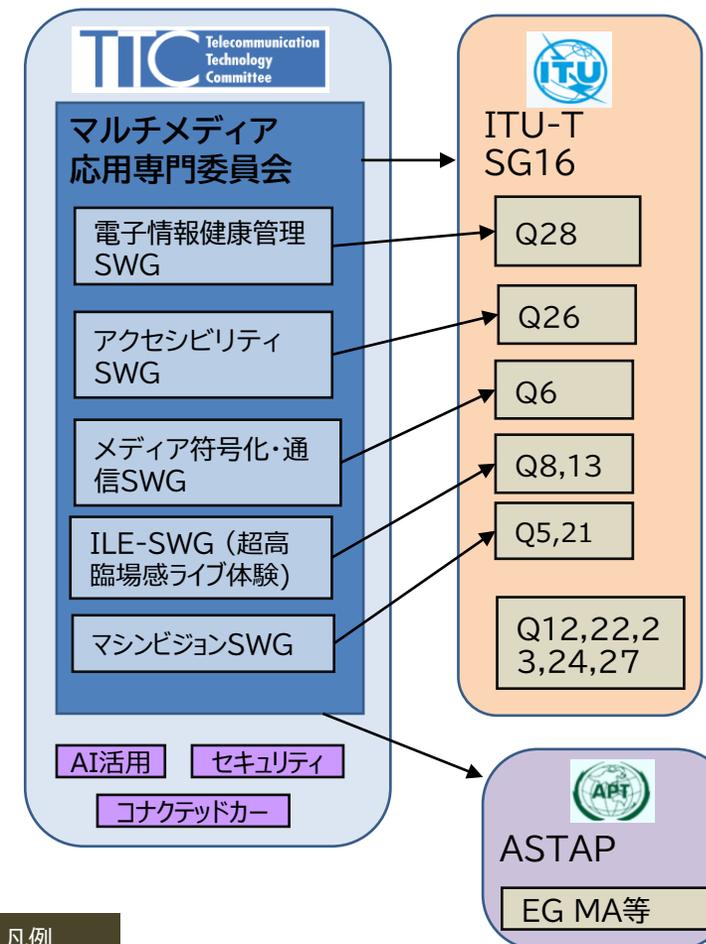


標準化方針

各SWGのページに記載

国内外の標準化団体等の動向

各SWGのページに記載



凡例

→ 寄書審議、対処方針審議、
会合結果共有等

<p>新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み</p>	<p>国内の民間団体の検討結果等に基づき日本企業の海外展開に向けた標準獲得のため、ILE、IPTV、アクセシビリティ、電子情報健康管理、マシンビジョンに関する国際標準化団体アップストリーム8件程度（ITU-T寄書7件、ASTAP寄書1件）を実施。国際標準化動向の情報提供のために、国内向けに、セミナー1件、ダウンストリーム1件を実施予定。</p>			
<p>関連する専門委員会または外部組織とその内容</p>	<p>SG16の以下の課題(a)(b)(c)は関連するTTCのグループとの連携を深め、SG16への寄書の国内寄書審議の取りまとめは本委員会で行う。以下では、TTCグループ名を括弧の中に記載。 (a) 課題Q.5 AIによるマルチメディアアプリケーション（AI活用） (b) 課題Q.22 分散電子台帳技術とeサービス（セキュリティ） (c) 課題Q.27 ITS（コネクテッドカー）</p>			
<p>主な活動項目</p>	<p>概況指標</p>	<p>2022年度目標(当初計画時)</p>	<p>2022年度実施状況</p>	<p>記事</p>
<p>① アップストリーム 他団体との連携</p>	<p>寄書数</p>	<p>8件程度</p>	<p>12件（SG16）、1件（ASTAP）</p>	
	<p>外部会合への参加・連携状況</p>	<p>SG16会合：9または10月 ASTAP-34：第1または2四半期</p>	<p>ITU-T SG16会合：10月 ASTAP-34：4月</p>	
<p>② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート</p>	<p>JJ標準</p>	<p>各SWGで設定</p>	<p>なし</p>	
	<p>TS/TR/SR</p>	<p>各SWGで設定</p>	<p>なし</p>	
<p>③ ダウンストリーム</p>	<p>数</p>	<p>各SWGで設定</p>	<p>1件</p>	

<p>新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み</p>	<p>国内の民間団体の検討結果等に基づき日本企業の海外展開に向けた標準獲得のため、ILE、IPTV、アクセシビリティ、電子情報健康管理、マシンビジョンに関する国際標準化団体アップストリーム8件程度（ITU-T寄書7件、ASTAP寄書1件）を実施。国際標準化動向の情報提供のために、国内向けに、セミナー1件、ダウンストリーム1件を実施予定。</p>			
<p>関連する専門委員会または外部組織とその内容</p>	<p>SG16の以下の課題(a)(b)(c)は関連するTTCのグループとの連携を深め、SG16への寄書の国内寄書審議の取りまとめは本委員会で行う。以下では、TTCグループ名を括弧の中に記載。 (a) 課題Q.5 AIによるマルチメディアアプリケーション（AI活用） (b) 課題Q.22 分散電子台帳技術とeサービス（セキュリティ） (c) 課題Q.27 ITS（コネクテッドカー）</p>			
<p>主な活動項目</p>	<p>概況指標</p>	<p>2022年度目標(当初計画時)</p>	<p>2022年度実施状況</p>	<p>記事</p>
<p>④ プロモーション 普及推進</p>	<p>セミナー</p>	<p>各SWGで設定</p>	<p>1. 2022年10月にTTCセミナー「遠隔医療のアクセシビリティに関する最新標準技術動向」の開催 2. 2023年3月に「Safe Listening関連セミナー」計画中</p>	
	<p>記事投稿、講演会</p>	<p>1. 適宜SG会合の結果報告、ドキュメント作成、ダウンストリームの概要をTTCLレポートに寄稿する。 2. 6月 画像センシング展および 12月 国際画像機器展にてパネル展示を実施する。</p>	<p>1. TTCLレポート7月号に標準類制定状況「JT-H266」及び「JT-H430.5」の記事を寄稿 2. TTCLレポートにSG16会合の記事を寄稿。4月号に「第8回会合」、1月号に「第1回会合」。 3. TTCLレポート1月号に「IVSM 2022 Fall TOKYO」会合報告を寄稿 4. IVSM 2022 Fall TOKYO（9/26-）30日）をTTC会議室にて開催。この中でセミナー講演を実施。 5. 国際画像機器展(12/7-9)にて JIIA-TTC連携取組に関するパネル展示、及びセミナー講演実施。 6. 9月と11月にメタバース標準化対応検討会議開催</p>	

<p>新テーマ及び重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み</p>	<p>国内の民間団体の検討結果等に基づき日本企業の海外展開に向けた標準獲得のため、ILE、IPTV、アクセシビリティ、電子情報健康管理、マシンビジョンに関する国際標準化団体アップストリーム8件程度（ITU-T寄書7件、ASTAP寄書1件）を実施。国際標準化動向の情報提供のために、国内向けに、セミナー1件、ダウンストリーム1件を実施予定。</p>			
<p>関連する専門委員会または外部組織とその内容</p>	<p>SG16の以下の課題(a)(b)(c)は関連するTTCのグループとの連携を深め、SG16への寄書の国内寄書審議の取りまとめは本委員会で行う。以下では、TTCグループ名を括弧の中に記載。 (a) 課題Q.5 AIによるマルチメディアアプリケーション（AI活用） (b) 課題Q.22 分散電子台帳技術とeサービス（セキュリティ） (c) 課題Q.27 ITS（コネクテッドカー）</p>			
<p>主な活動項目</p>	<p>概況指標</p>	<p>2023年度目標(当初計画時)</p>	<p>2023年度実施状況</p>	<p>記事</p>
<p>① アップストリーム 他団体との連携</p>	<p>寄書数</p>	<p>10件程度</p>		
	<p>外部会合への参加・連携状況</p>	<p>ITU-T SG16会合：7月（第2回） ASTAP：4月</p>		
<p>② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート</p>	<p>JJ標準</p>	<p>各SWGで設定</p>		
	<p>TS/TR/SR</p>	<p>各SWGで設定</p>		
<p>③ ダウンストリーム</p>	<p>数</p>	<p>各SWGで設定</p>		
<p>④ プロモーション 普及推進</p>	<p>セミナー</p>	<p>各SWGで設定</p>		
	<p>記事投稿、講演会</p>	<p>適宜SG会合の結果報告、ドキュメント作成、ダウンストリームの概要をTTCLレポートに寄稿する。</p>		

中期標準化戦略(概要と目的)

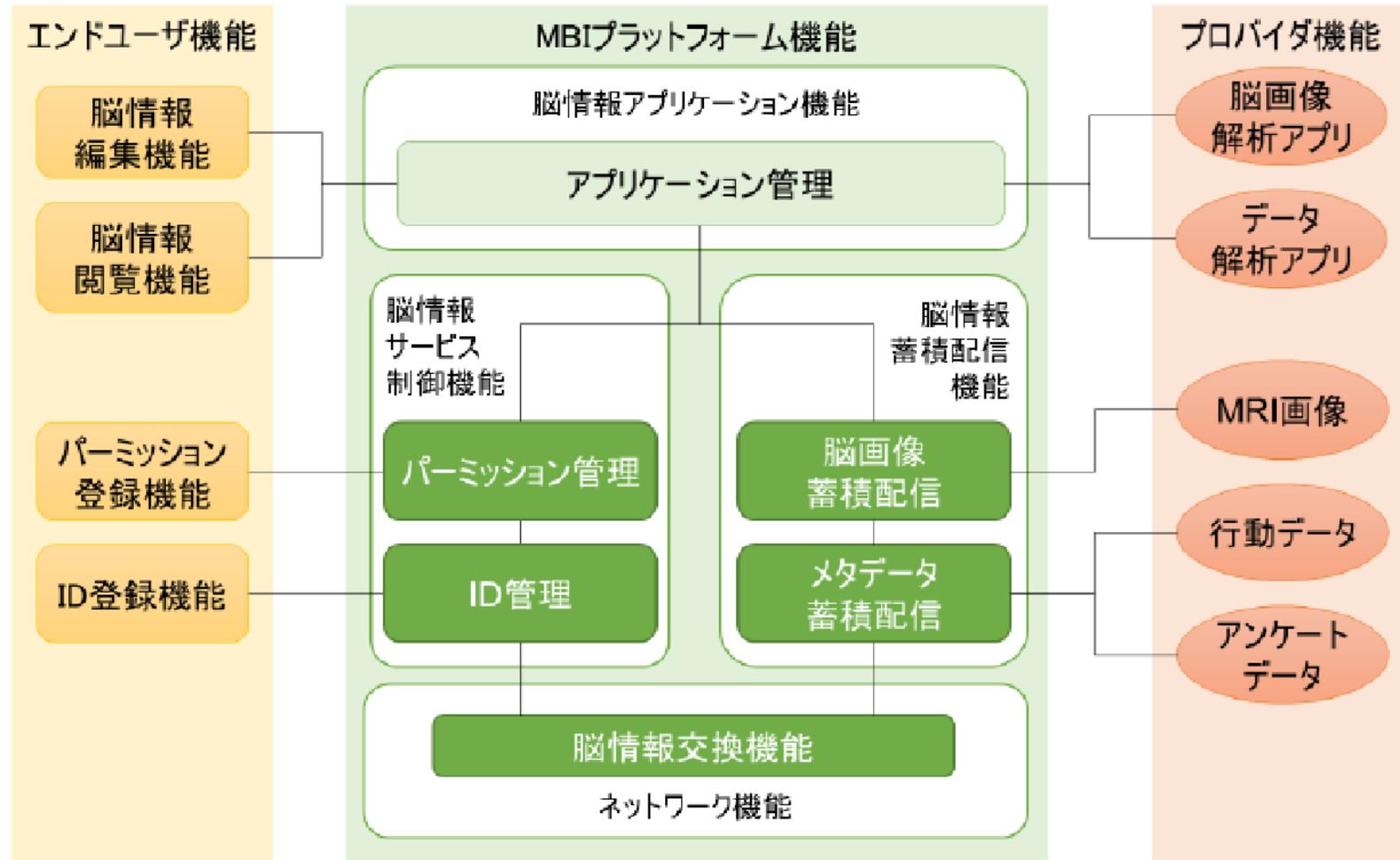
専門委員会・AG名

電子情報健康管理SWG

1/3

企画戦略委員	石岡 譲 (富士通)	登録委員数	
委員長・副委員長/ リーダー・サブリーダー	リーダー：川森雅仁 (慶應義塾大学)	図解	
活動の目的・意義	<p>持続可能な社会の発展のために健康の増進や高齢化への対応は、最重要な要素のひとつである。そのためにICT技術の利活用は不可欠になりつつあり、相互運用性、社会での普及という観点からe-healthの標準化は、大きな意義を持っている。本SWGは、以上の背景から、最新のマルチメディアICT技術を用いた遠隔医療やICT健康保健の作業項目の標準化を行う。</p>		
活動する上での課題 (人材面や運用面での課題を含む)	国内での活動の活発化。標準化活動結果の国内での宣伝	次ページ参照	
関連のSDGsゴール	   	以下注釈： 「Continua (Continua Design Guidelines) 」 Personal Connected Health Allianceによって発行されたガイドライン。	
標準化方針	<ul style="list-style-type: none"> ・H.870のコンFORMANCEテストのアップストリーム ・H.870の国内仕様の精緻化 ・アクセシブル遠隔医療への提案、ダウンストリーム；EMCの推進 ・脳情報プラットフォーム(勧告化完了)ユースケースなどの拡充 ・F.780.1 (超高精細医療応用) 改定へのアップストリーム ・F.780.1のコンFORMANCEテストのアップストリーム ・超高精細内視鏡に関連した色基準に関するアップストリーム活動 (テクニカルドキュメント化) ・Continua Guidelineのダウンストリーム ・The Common Pass標準化議論とアップストリーム 	「 Personal Connected Health Alliance (PCHAlliance) 」 様々な健康・医療システムやサービスをシームレスに扱えることを目標とし、より質の高い「予防的な健康管理」と「慢性疾患の管理」、そして「高齢者の自立支援」の実現を目指す非営利団体 「The Common Pass」 ・出入国のためにPCR検査結果などを共有する世界共通の電子証明書の仕様策定などを進めるスイスに設立された国際的な非営利組織。米ロックフェラー財団が資金提供し、世界経済フォーラムや国際文化会館などが運営を担う。米Googleのエンジニアや米IDEOのデザイナーなどもメンバーとして参加	
国内外の標準化団体等の動向	<p>ITU-TSG16 Q28では、日本から提案した脳情報プラットフォーム、超高精細内視鏡等の標準勧告化がなされた。また以前から続いているContinuaAliianceGuidelineの勧告化が継続されている。WHOとの共同標準であるH870が業界の関心を呼んでいる また新たにFG on AI for Healthが2018年度より開始され、その動向が注目される。ISOのHealth Informaticsと、Q28/16 はリエゾンを通じて情報共有しており、上記の活動とも関連する。WEFが推進するCOVID-19に対応したThe Common Passの標準化。アクセシブル遠隔医療はWHOが推進している。</p>		

脳情報プラットフォーム



新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・Safe Listening勧告の改定、普及。アクセシブル遠隔医療の推進、普及 ・医療用UHD応用関連勧告化の推進。 ・脳情報プラットフォーム関連勧告化。脳情報関連の新規テーマの検討 ・AIと保険医療標準化のワッチ ・コロナ関連勧告の検討。
--------------------------------	---

関連する専門委員会または外部組織とその内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ TTC-SWG1305'と医療におけるEMCについて協議。
-----------------------	---

主な活動項目	概況指標	2022年度目標（当初計画時）	2022年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数		3件	
	外部会合への参加・連携状況	ITU-T SG16会合：時期未定 FG-AI4H:2月	ITU-T SG16会合：10月	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	1		
	TS/TR/SR	1件/0件/0件		
③ ダウンストリーム	数	TS： 回 TR： 回		
④ プロモーション 普及推進	セミナー	年度内に数回セミナーを開催する	2023年3月に「Safe Listening関連セミナー」計画中	
	記事投稿、講演会	TTCレポート、ITUジャーナル等		

新テーマ及び重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・Safe Listening勧告の改定、普及。アクセシブル遠隔医療の推進、普及 ・医療用UHD応用関連勧告化の推進。 ・脳情報プラットフォーム関連勧告化。脳情報関連の新規テーマの検討 ・AIと保険医療標準化のワッチ ・コロナ関連勧告の検討。 			
関連する専門委員会または外部組織とその内容				
主な活動項目	概況指標	2023年度目標（当初計画時）	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2件程度	-	
	外部会合への参加・連携状況	・ITU-T SG16会合：7月		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件		
	TS/TR/SR	0件/0件/0件		
③ ダウンストリーム	数	TS： 回 TR： 回		
④ プロモーション 普及推進	セミナー	・年度内にセミナーを1回開催		
	記事投稿、講演会	TTCレポート、ITUジャーナル等		

中期標準化戦略(概要と目的)

専門委員会・AG名

アクセシビリティSWG

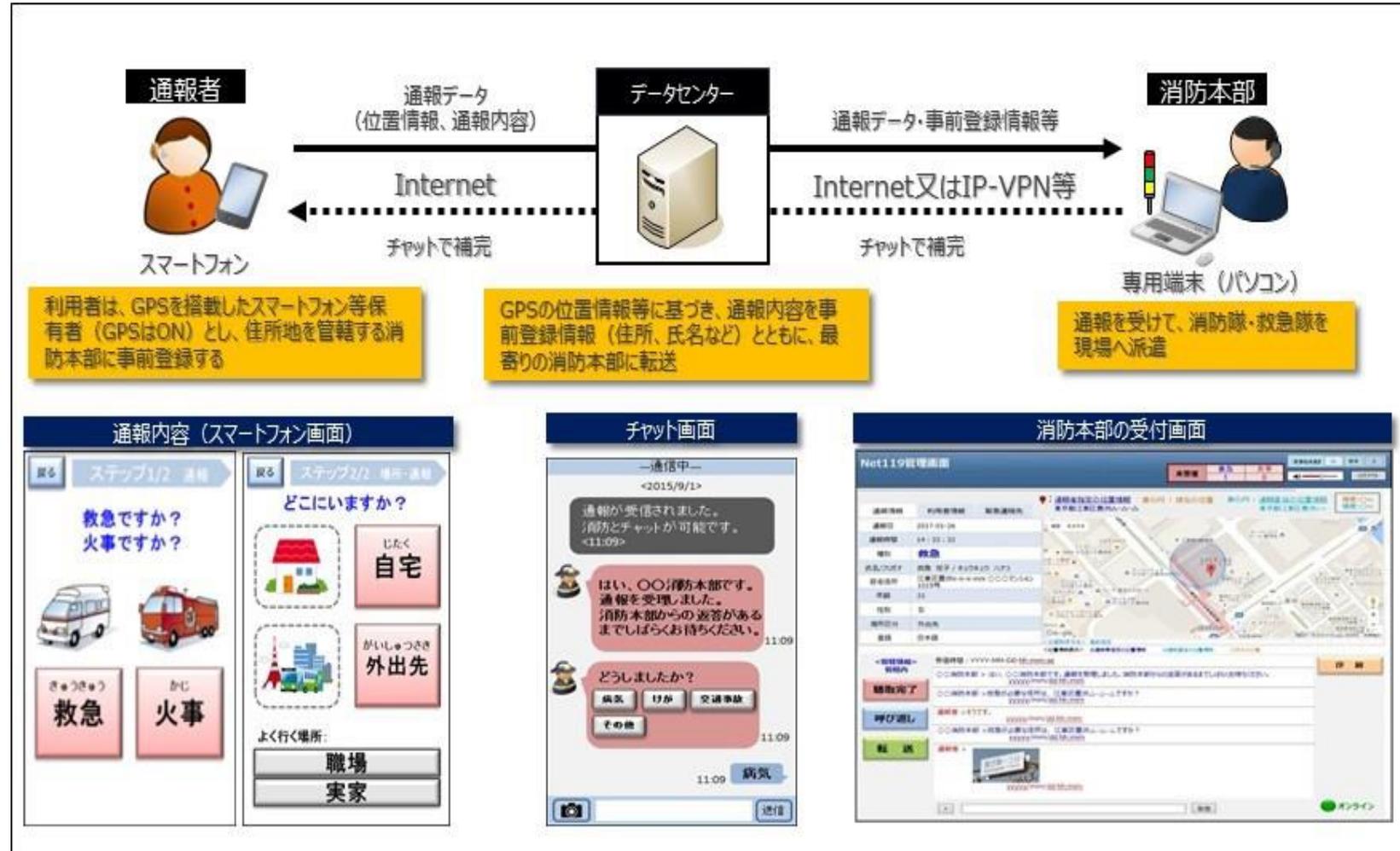
1/3

企画戦略委員	石岡 譲 (富士通)	登録委員数	13/6
委員長・副委員長/ リーダー・サブリーダー	リーダー：山本 高大 (NTT)	図解	
活動の目的・意義	<p>・聴覚障害者や視覚障害者のための、バリアフリーな社会作りに必要なアクセシビリティの標準化は重要である。緊急通報システムなどはその一例であり、一刻も早く世の中に広く普及させることが大切であり、アクセシビリティ関連の標準化の意義は大きい。</p>		
活動する上での課題 (人材面や運用面での課題を含む)	<p>・アクセシビリティに関する新たな検討項目の発掘とメンバーの拡充。</p>		
関連のSDGsゴール			
標準化方針	<ul style="list-style-type: none"> Net119の共通電文仕様の維持管理 リレーサービスに関する標準化検討。緊急通報への接続要件及びIFを検討し、標準化を推進する 情報アクセシビリティ関連の標準化の検討 アジア標準の策定可能性の検討 視覚障害者向けの音声ナビゲーションF.921のダウンストリーム 電話リレーサービスF.930のダウンストリーム 		
国内外の標準化団体等の動向	<p>・WHOや世界ろうあ者連盟 (WFD) などにおいて、健康で安心できる社会をICTによって支えるための標準化に取り組んでいる。</p>		

次ページ参照

・Net119：マルチメディア緊急通報システムで、会話が不自由な聴覚・言語機能障害者が、スマートフォン等の携帯端末を利用し、消防本部へ音声によらない通報を行えるシステム
 ・WSIS：World Summit on the Information Society ITU主導のもと、各国首脳レベルで情報社会に関する共通ビジョンの確立を図るための具体的な方策を検討するSummit

Net119のシステム構成例



新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> Net119のサービス普及を側面からサポート（相互接続試験の場所提供など） 			
関連する専門委員会または外部組織とその内容				
主な活動項目	概況指標	2022年度目標（当初計画時）	2022年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2件程度	-	
	外部会合への参加・連携状況	<ul style="list-style-type: none"> ITU-T SG16会合：7月 IPTVアクセシビリティコンソーシアムとの連携 		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件		
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	1件	TS制定 TR制定：	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	<ul style="list-style-type: none"> 年度内にセミナーを1回開催（電話リレーサービスの勉強会なども検討） 	TTCセミナー「遠隔医療のアクセシビリティに関する最新標準技術動向」の開催	
	記事投稿、講演会			

新テーマ及び重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み	Net119のサービス普及を側面からサポート（相互接続試験の場所提供など）			
関連する専門委員会または外部組織とその内容				
主な活動項目	概況指標	2023年度目標（当初計画時）	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2件程度	-	
	外部会合への参加・連携状況	・ITU-T SG16会合：7月 ・IPTVアクセシビリティコンソーシアムとの連携		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件		
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	1件	TS制定 TR制定：	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	・年度内にセミナーを1回開催 （電話リレーサービスの勉強会なども検討）		
	記事投稿、講演会			

中期標準化戦略(概要と目的)

専門委員会・AG名

メディア符号化・通信SWG

1/3

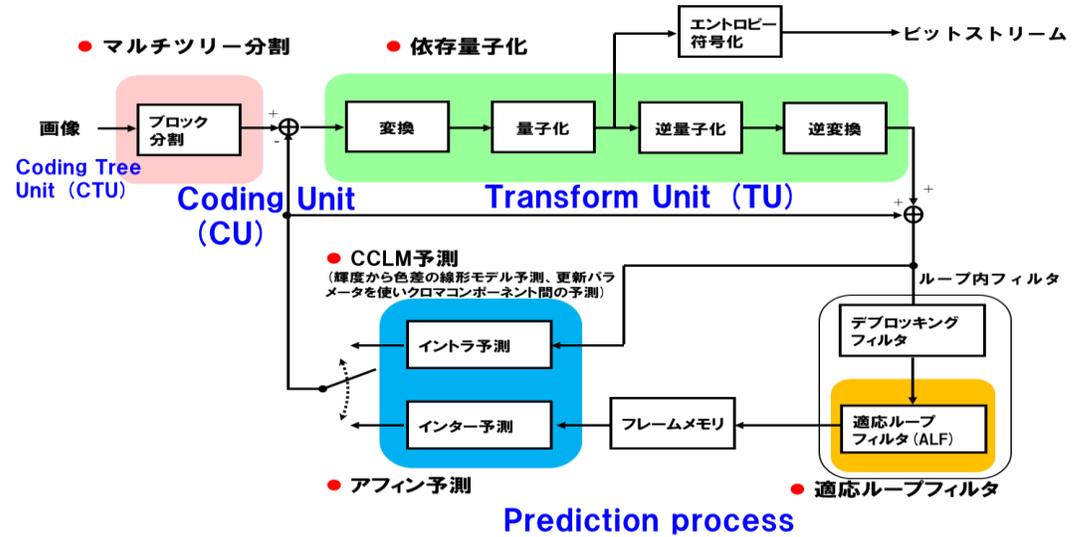
企画戦略委員	石岡 譲 (富士通)	登録委員数	7/5
委員長・副委員長/ リーダー・サブリーダー	リーダ：野澤善明 (NEC)	図解	
活動の目的・意義	<ul style="list-style-type: none"> マルチメディア通信やIPTVなどで重要な音声符号化や画像符号化、FAX通信など、主にITU-T SG16の勧告の国内標準化策定を中心とした標準化活動に関して、製品の相互接続性確保の活動を行っているHATSフォーラムと連携して活動を行う。 		
活動する上での課題 (人材面や運用面での課題を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・ダウンストリーム標準を必要とする方が直接は見えていないこともあり、国内標準化の要望や意義も見出し難い。 		
関連のSDGsゴール			
標準化方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ ITU-T SG16のメディア符号化に関する標準状況と会員要望によりTTC標準化と改版・改定について検討。 ・ HATSフォーラムから相互接続性確保の観点から要望や標準解釈上の課題点がインプットされた場合の標準へのフィードバック検討。 		
国内外の標準化団体等の動向	HATSフォーラムと連携 TTC標準に基づいた相互接続試験の実施を行うなど、連携した活動を行っている。		

次ページ参照

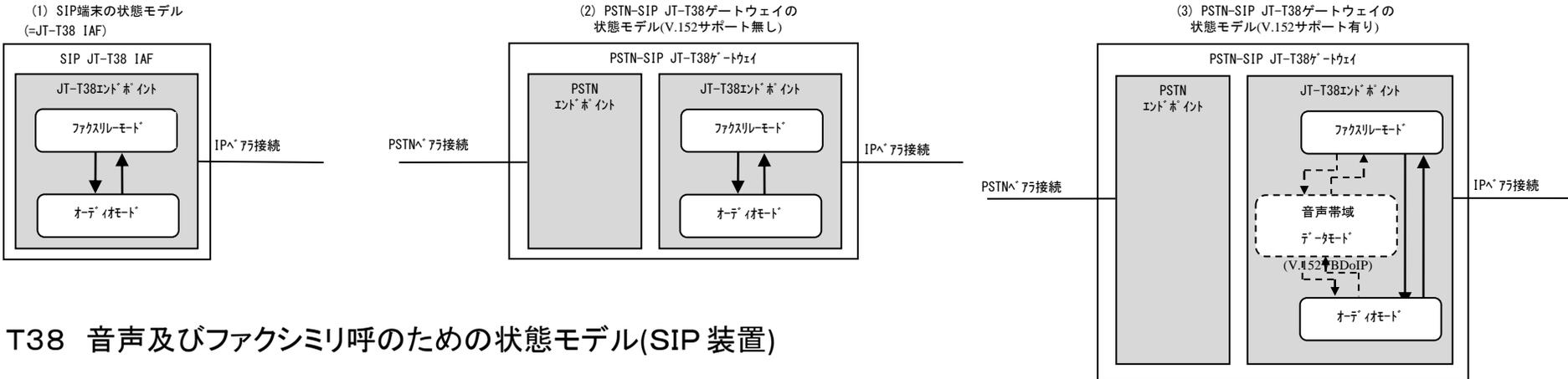
(1)メディア符号化関連

H266のエンコーダ構成図

●がH266を支える要素技術



(2) マルチメディア通信システム関連



T38 音声及びファクシミリ呼のための状態モデル(SIP 装置)

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 最新のビデオ符号化標準(H.266)のダウンストリーム活動 相互接続上の課題があれば、HATSフォーラムと連携した取り組みを実施 FAX端末の要望に基づく活動の推進 			
関連する専門委員会または外部組織とその内容				
主な活動項目	概況指標	2022年度目標（当初計画時）	2022年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数		-	
	外部会合への参加・連携状況			
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	1件 TS： 回 TR： 回	・TTC簡略標準化 JT-H266v1の制定。 TS制定 TR制定：	
④ プロモーション 普及推進	セミナー			
	記事投稿、講演会		・TTCLレポート 標準類制定状況 (JT-H266)	

新テーマ及び重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員企業の要望に基づきダウストリーム活動の継続検討 ・ ダウストリーム活動の要望や意義の確認も含めて検討 ・ 相互接続上の課題があれば、HATSフォーラムと連携した取り組みを実施 ・ FAX端末の要望に基づく活動の推進 			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ HATSフォーラム IP-FAX(Direct)相互接続試験Annex手順 			
主な活動項目	概況指標	2023年度目標（当初計画時）	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数		-	
	外部会合への参加・連携状況	HATSとの連携 JT-T38に関連して、HATSフォーラムにて接続試験の実施要領が制定され、IP-FAX(Direct)接続試験が実施されている。試験結果を踏まえて、TTC標準JT-T38の関連ドキュメントに位置づくTTC技術レポート化を連携して検討している。		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/1件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウストリーム	数	TS： 回 TR： 回	TS制定 TR制定：	
④ プロモーション 普及推進	セミナー			
	記事投稿、講演会			

中期標準化戦略(概要と目的)

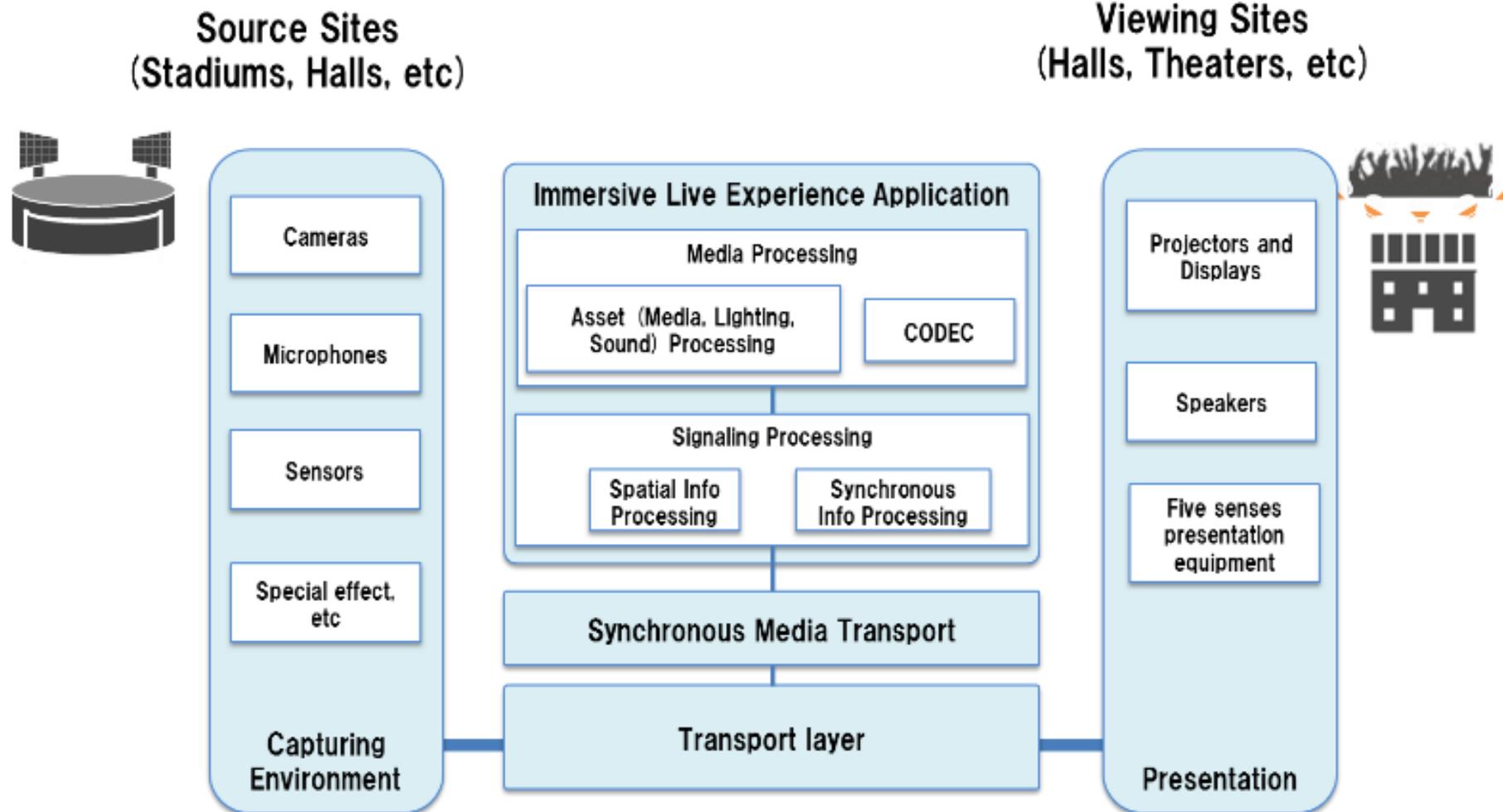
専門委員会・AG名

ILE-SWG

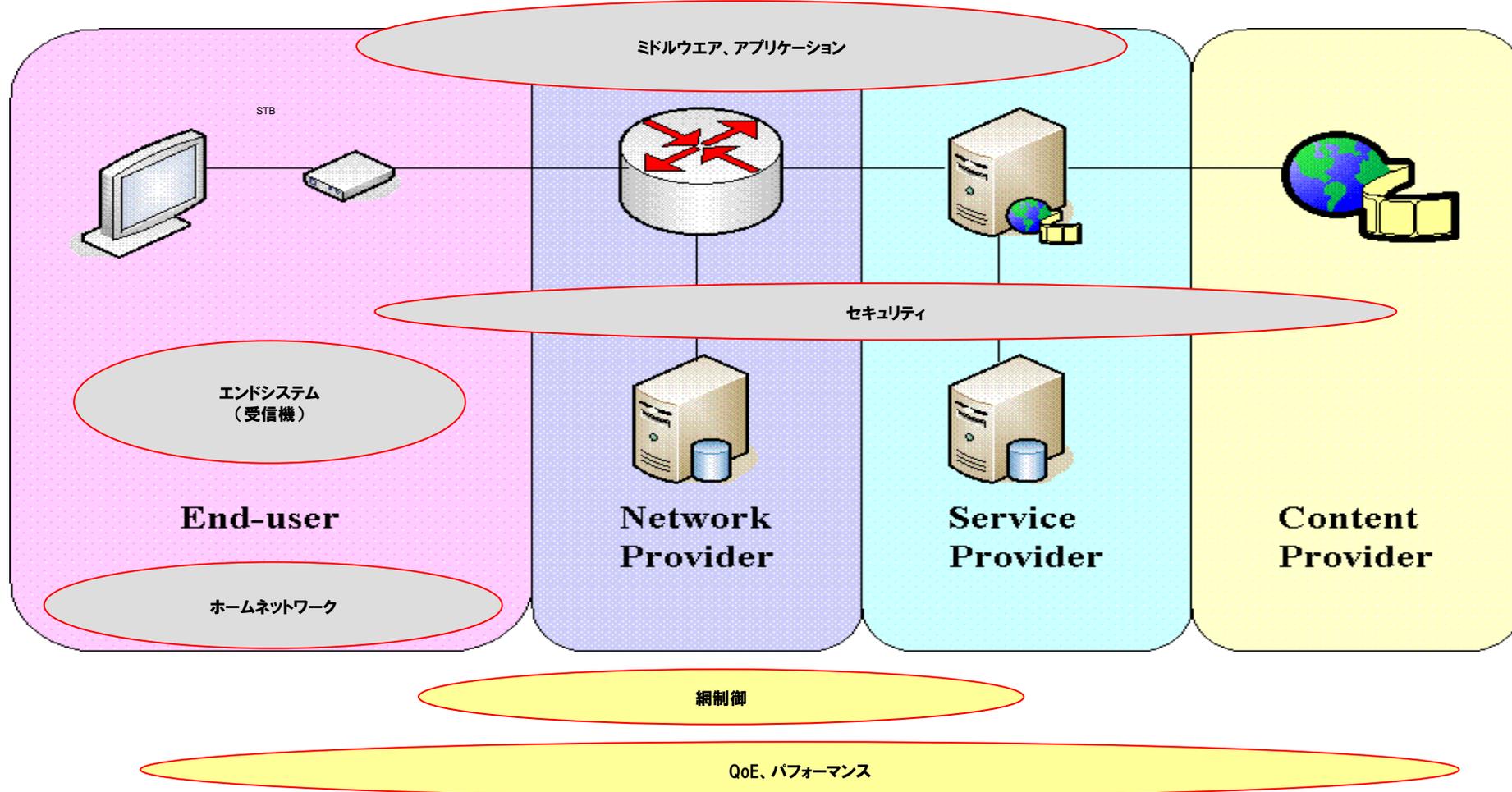
1/3

企画戦略委員	石岡 譲 (富士通)	登録委員数	23/15
委員長・副委員長/ リーダー・サブリーダー	リーダー：長尾 慈郎 (NTT)	図解	
活動の目的・意義	<ul style="list-style-type: none"> ・ 超高臨場感ライブ体験 (ILE) 技術をグローバルに啓蒙、普及することを目的として、国際標準化を検討する。 ・ 日本のIPTVサービスで採用されている方式を基にした国際標準への反映を目的として、IPTV (IP放送、映像配信、VOD) に関するITU-T SG16関連の標準化活動を実施する。また、国際標準との整合性を確認、確保すべく、IPTVに関わる国内外活動 (ASTAP、IPTVフォーラム、DSC、W3C等) の情報収集も行う。 		
活動する上での課題 (人材面や運用面での課題を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総務省および国内仕様団体と連携・協調した国際標準化 ・ 国内仕様化団体との整合性を重視し、ILE、IPTVおよびデジタルサイネージに関して相互接続や技術・サービスの普及に必要な勧告についてITU-Tへアップ/ダウンストリーム 		
関連のSDGsゴール			
標準化方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他団体との標準化連携を進める。 ・ ILEに関する国際標準の必要性を啓蒙し、IPTV及びデジタルサイネージに関するサービス市場の安定的成長と、会員それぞれの国内外におけるビジネス拡大に寄与するため、国内仕様とITU-Tを中心とした国際標準化の整合性を確保するとともに、先駆的サービス実現の観点からITU-Tでの勧告化に貢献する。 ・ 国内のコンセンサスの場としての活動を維持強化する。国内ビジネスの展開に役立つ「ダウンストリームすべき勧告」について検討する。 <ol style="list-style-type: none"> 1. ITU-Tにおける勧告体系の観点から、必要な勧告案に対するコンセンサスの連携強化と実効性のあるアップストリーム活動 2. 国内既存サービスとの整合性確保と新サービス対応 3. ビジネス展開に資するダウンストリーム 	次ページ参照	
国内外の標準化団体等の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・ MPEG、DVB、W3Cで符号化やVR/AR向けデバイスAPIの標準化等。 ・ ISOで触覚に関する標準化。 ・ ITU-T：FG-IPTVの成果文書をベースとし、2008.1に開始したIPTV-GSI関連で100件の勧告、技術文書等が完成。 ・ DSCにて、デジタルサイネージに関する各種ガイドラインを整備。 ・ IPTVフォーラムにおいて、IPTVの4K8K対応について規格化。 		

超高臨場感ライブ体験フレームワーク



IPTVアーキテクチャ



<p>新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ITU-Tにおけるプレゼンス確保の観点から、ILEに関する基本勧告のメンテナンスや個別技術に関する勧告化を必要に応じて実施 Beyond 5Gの超テレプレゼンス等、ILEに関連する動きを取り入れた作業項目等を検討 メンバ間でのILEに関する相互理解を深めるため、イマーシブサービスの事例紹介をSWGで継続的に実施 ILE勧告の国内認知を高めるため、ITU-T勧告のダウンストリームやセミナー開催を検討 情報規格調査会やNexCDiフォーラムとの合同会合の開催等、連携強化（実施には至らず） 会員企業のビジネスメリットのある国際標準化を推進することとし、新サービスやグローバル展開に向けたアップストリーム活動を継続 IPTVフォーラム及びDSCの規格検討に合わせて同団体との連携を継続、国内外への普及の観点から必要に応じて必要となる勧告を日本主導で整備 会員企業の要望に応じてビジネス展開に資するダウンストリームを継続検討
---------------------------------------	---

<p>関連する専門委員会または外部組織とその内容</p>	
------------------------------	--

主な活動項目	概況指標	2022年度目標（当初計画時）	2022年度実施状況	記事
<p>① アップストリーム 他団体との連携</p>	寄書数	4件程度(ILE:2、IPTV:2)	7件（ILE:6、IPTV:2）	
	外部会合への参加・連携状況	ITU-T SG16会合：未定	ITU-T SG16会合：10月 ASTAP-34：4月	
<p>② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート</p>	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
<p>③ ダウンストリーム</p>	数	TS：1回 TR：0回	TS制定：0回 TR制定：0回	
<p>④ プロモーション 普及推進</p>	セミナー	マルチメディア応用専門委員会のセミナーに協力する		
	記事投稿、講演会			

中期標準化戦略(2023年度重点取り組みと活動予定)

専門委員会・AG名

ILE-SWG

3/3

<p>新テーマ及び重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 会員企業のビジネスメリットのある国際標準化を推進することとし、新サービスやグローバル展開に向けたアップストリーム活動を継続、国内外への普及の観点から必要に応じて勧告を日本主導で整備 • メンバ間でのILEに関する相互理解を深めるため、イマーシブサービスの事例紹介等をSWGで実施 • セミナー開催による普及促進や、連携強化のための合同会合の開催等を検討 • 情報規格調査会、IPTVフォーラム及びDSCとの連携を継続 • 会員企業の要望に応じてビジネス展開に資するダウンストリームを継続検討 			
<p>関連する専門委員会または外部組織とその内容</p>				
<p>主な活動項目</p>	<p>概況指標</p>	<p>2023年度目標（当初計画時）</p>	<p>2023年度実施状況</p>	<p>記事</p>
<p>① アップストリーム 他団体との連携</p>	<p>寄書数</p>	<p>3件程度</p>		
	<p>外部会合への参加・連携状況</p>	<p>ITU-T SG16会合：7月 ASTAP：4月</p>		
<p>② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート</p>	<p>JJ標準</p>	<p>0件</p>		
	<p>TS/TR/SR</p>	<p>0件/0件/0件</p>		
<p>③ ダウンストリーム</p>	<p>数</p>	<p>TS：1回 TR：0回</p>		<p>H.702ver2を予定</p>
<p>④ プロモーション 普及推進</p>	<p>セミナー</p>	<p>マルチメディア応用専門委員会のセミナーに協力する</p>		
	<p>記事投稿、講演会</p>			

中期標準化戦略(概要と目的)

専門委員会・AG名

マシンビジョンSWG

1/3

企画戦略委員	石岡 譲 (富士通)	登録委員数	6/3
委員長・副委員長/ リーダー・サブリーダー	木浦 幸雄 (JIIA)	図解	
活動の目的・意義	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信ネットワーク技術に必須となっている画像/ビデオによる視覚検査と欠陥検出、位置調整と測定、製品の識別・分類・追跡などを行うマシンビジョン(Machine vision) 技術をグローバルに啓蒙、普及することを目的として、国際標準化を推進する 		
活動する上での課題 (人材面や運用面での課題を含む)	-		
関連のSDGsゴール			
標準化方針	<ul style="list-style-type: none"> マシンビジョンに関する国際標準の必要性を啓蒙すべく寄書提案などを行い、作業項目や勧告草案の充実を図る。 		
国内外の標準化団体等の動向	JIIA、及びそのアライアンスを締結しているA3 (北米)、EMVA (欧州)、VDMA (ドイツ)、CMVU (中国) などの国際的なマシンビジョン業界団体での標準化活動と連携		

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	ITU-T SG16 Q5,Q21のマシンビジョンに関する寄書調査、問題提起 ・JIIA、及びそのアライアンスするマシンビジョン業界団体での標準化活動と連携 ・国際標準化動向の情報提供のための国内向けセミナー、及び国際的な業界標準の推進			
関連する専門委員会または外部組織とその内容				
主な活動項目	概況指標	2022年度目標（当初計画時）	2022年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-	1件 (他国寄書の部分的な内容修正提案寄書)	
	外部会合への参加・連携状況	参加：ITU-T SG16会合:10月 ITU-T RGM会合:未定 連携：-	参加：ITU-T SG16会合:22年10月 ITU-T RGM Q21:22年7月 23年3月予定 ITU-T RGM Q5 :22年8月 23年3月予定 連携：JIIA、G3との連携	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	0件	0件	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	2件：6月 画像センシング展セミナー 12月 国際画像機器展セミナー	2件：22年 6月 画像センシング展セミナー 22年12月 国際画像機器展セミナー	
	記事投稿、講演会	2件：6月 画像センシング展パネル展示 12月 国際画像機器展パネル展示	4件：22年 9月 マシンビジョン標準化国際会議 (IVSM)共催 22年 6月 画像センシング展パネル展示 22年12月 国際画像機器展パネル展示 23年 1月 TTCLレポート記事投稿	

新テーマ及び重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み	・ITU-T SG16 Q5,Q21のマシンビジョンに関する寄書調査、問題提起 ・JIIA、及びそのアライアンスするマシンビジョン業界団体での標準化活動と連携 ・国際標準化動向の情報提供のための国内向けセミナー、及び国際的な業界標準の推進			
関連する専門委員会または外部組織とその内容				
主な活動項目	概況指標	2023年度目標（当初計画時）	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-		
	外部会合への参加・連携状況	参加：ITU-T SG16会合：7月 ITU-T RGM会合（時期未定） 連携：JIIA、G3との連携		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件		
	TS/TR/SR	0件/0件/0件		
③ ダウンストリーム	数	0件		
④ プロモーション 普及推進	セミナー	2件：23年6月 画像センシング展セミナー 23年12月 国際画像機器展セミナー		
	記事投稿、講演会	4件：23年4月マシンビジョン標準化国際会議 (IVSM/ウイーン) 共催 23年6月 画像センシング展パネル展示 23年9月 マシンビジョン標準化国際会議 (IVSM/USA)共催 23年12月 国際画像機器展パネル展示		